

杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

大学新聞

1~4面	特集 杏林大学の就職支援 学生時代の学びが社会人としての礎をつくる 跡見 裕学長メッセージ 教職一体の就職支援/学生の成長段階別プログラム/ 学校の先生になる/企業と連携 地域での学び/ 企業が求める人材	6面	杏林見聞録® 医学部 長谷川浩准教授 キャンパス紹介 井の頭図書館、学生支援課
5面	文部科学省支援事業報告 女性研究者研究活動支援事業ほか	7面	卒業生リレー 松尾理恵さん 在学生リレー 外国語学部 木村南月さん
		8面	学部・大学院トピックス わたしの書棚から/クラブ紹介
		12面	連載 金田一教授の研究室から 健康ひとくちメモ

特集

就職

一人ひとりの希望を全力支援

"就職"は大学生生活の締めくくりで、社会人としての人生の新たな第一歩です。杏林大学生の就職率は年々向上し、90%台半ばを超える状況が続いています。教員採用試験は今年度は過去最高の合格者数を実現しました。その背景にあるのは、学生たちの懸命な就活努力とそれをサポートする教員と職員が一体になった支援体制です。1年生から始まる杏林大学ならではの正課のキャリア教育や、キャリアサポートセンターを中

核に進める多彩なプログラム、これらの取り組みで最も重視しているのは一人ひとりの希望に向き合った face to face の支援です。3年生になってあわてて就職活動を始めるといったことのないよう、悔いすることのない学生生活を送って欲しいと思います。今号は、杏林大学が展開する5つの支援策、企業が求める人材、卒業生の活躍ぶりなどを特集しました。



外国語学部と総合政策学部の3年生を対象に、キャリアサポートセンターが実施した就職特別対策講座。書類選考のためのエントリーシートの書き方を演習を通して学ぶリクルートスーツ姿の学生たち

学生時代の学びが社会人としての礎をつくる



学長
跡見 裕 (あとみ ゆたか)

グローバル化や情報化、少子・高齢化など社会が複雑化し仕事が多様化する中で、今後の社会でやりがいを持って活躍するためには、自分がやりたいことをしっかりと認識し、立場や取り巻く状況を正しく判断し実践していくことが求められます。そのためには、大学時代に勉学を

通して専門的な知識を身につけると同時に、コミュニケーション能力を養い、留学や部活、読書、実社会での体験など様々な経験を積んで人間的な幅を広げることが必要であり、学生時代の学びや経験がその後の社会人としての基礎になるといってもよいでしょう。

"なりたい"自分の実現へ全力でサポート

杏林大学は八王子キャンパスから井の頭キャンパスに移転するにあたり、「新キャンパスとともに生まれ変わる全学の教育方針」を定めました。その内容は、「君の可能性を見つ

け、未来へつなげよう」をテーマに、(1) "なりたい"自分を見つけ、"なりたい"自分に近づくために、きめ細かいケア、(2) 4学部の距離が近づき、広がる学びの道、(3) 地域社会でも国際社会でも活躍できる人材の育成、というものです。この3つの方針の下、たとえば総合政策学部では、2016年度から1年次に専門への導入科目を数多く用意し、これらを広く学ぶうちに"なりたい"自分が見えてきたら2年次からの専門に進むようカリキュラムを整えました。外国語学部においても留学支援を強化するとともに語学サロンの充実

など課外での学習体制を整備しました。**就職"率"から就職"質"へ** 学生の皆さんが将来社会に貢献する有為な人材となるために、自分の希望する道でその潜在能力を発揮できるようサポートすることは大学教育の大きな使命の一つです。教員とキャリアサポートセンターの一体となった取り組みにより、就職率は今では国公立大学や有力私大に迫るまでの実績をあげようになりましたが、"なりたい"自分を実現できるよう、私どもは就職"質"の一層の充実に向けて学生一人ひとりを全力で支援してまいります。

教職一体の就職支援 独自のキャリア教育で就職率アップ

正課・必修科目の充実 文系学部 3年間で計90コマ

総合政策学部の「ライフ・プランニング」「キャリア開発論」「キャリア開発演習」、外国語学部の「キャリアデザインⅠ～Ⅵ」は正課のキャリア教育科目として必修で開講しています。全学生が3年次修了までに計90コマ受講します。

低学年次に様々な職業や業界を知ることによって選択肢を広げ、どのような人生を送ってきたいかを考え、自分の生涯のキャリアへの意識を高めていきます。

正課のキャリア教育科目でしかも必修でこれだけ揃える大学はめずらしく、また、これらの講座プログラムの組み立てや検討を教員とキャリアサポートセンターが連携して実施していることも大きな特長です。

意識が変わる模擬就活

総合政策学部の「就職活動トライアルイベント」と外国語学部の「就職活動シミュレーション」は、3年生全員が年2回体験する、正課のプログラムです。

仮想企業を設定してエントリーシートの提出からSPI試験、面接、グループディ



模擬就職活動でグループディスカッションを行う学生。「模擬就職活動を境に学生の態度はガラッと変わります。SPI試験、面接、グループディスカッションなどは経験を積むことも自信につながります。自分の弱点を知るチャンスと考え、臨んでほしい」就活事情を熟知し、このイベントをサポートするキャリアサポートセンターは話す

スカッションまで、企業の採用選考を本番さながらの環境で模擬体験するもので、全国でも数少ない、非常にユニークな取り組みです。

面接は企業の採用担当者の協力を得て実施します。面接後にその場で行われる評価では、入室からの一連の動作や話し方のチェックのほか、各自の履歴書と照らし合わせながら長所を活かした話のまとめ方などを指導してもらえます。

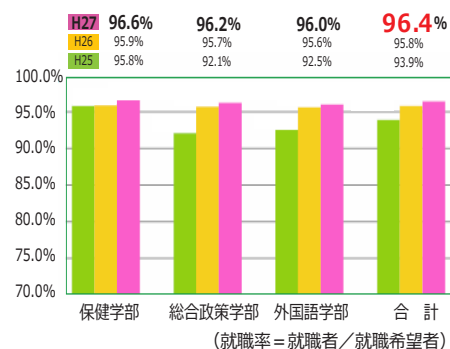
面接は録画して、後から教員やキャリ

アサポートセンターの職員が問題点を学生一人ひとりに指導します。

積極性やコミュニケーション力などを見るグループディスカッションでは、最新の時事問題などもテーマになります。ここでは自分の考えをしっかりと述べるとともに相手の意見にもじっくり耳を傾ける能力を養います。

また、学生が広く社会に関心を持つことの大切さを実感する機会でもあります。

就職率 (平成25年度～平成27年度)



主な就職先

(順不同)

【総合政策学部】武蔵野銀行、西武信用金庫、SMBC日興証券、三越伊勢丹ホールディングス、成城石井、竹中工務店、三機工業、小田急電鉄、東京メトロ、帝国ホテル、能美防災、総合警備保障、警視庁、神奈川県警 ほか

【外国語学部】JTB関東、JR東海ツアーズ、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル、シャングリ・ラホテル、ジェイエア、全日本空輸、オンワード樺山、横浜銀行、山梨中央銀行、多摩信用金庫、東京都、羽村市 ほか

【保健学部】杏林大学医学部付属病院、北里大学病院、国立がん研究センター中央病院、都立小児総合医療センター、アイロム、江東微生物研究所、東芝メディカルシステムズ、東京消防庁、横浜市消防局、東京都 ほか

求人倍率

■平成27年度求人倍率
 求人件数 6,499件
 求人倍率 8.4倍
 (求人件数/保健・総合政策・外国語学部卒業生数)

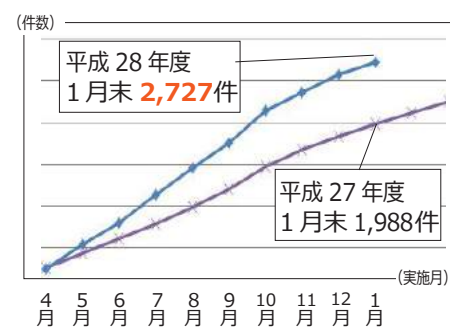
本学卒業生の採用実績の多い企業を中心に、多岐にわたる業界から毎年多くの求人票が送られてきます。

インターンシップ先

(順不同)

八王子市、羽村市、府中市、三鷹市、武蔵野市、エービーシー商会、SMBC日興証券、NHKグローバルメディアサービス、グランドハイアット東京、サイサン、三機工業、JALスカイ那覇、西武信用金庫、多摩信用金庫、トランスコスモス、メディセオ、ルネサスイーストン、リンレイ ほか

学生面談件数 (年度累計)



学生の成長段階に応じた支援 1年次から就活に備える

多彩なプログラムで就職力向上

学生一人ひとりの進路選択や就職活動をサポートする「就職支援プログラム」。将来への目標意識を高める1年次、業界・業種に関する視野を広げる2年次、そして就職活動の本格的な準備を開始する3年次。

成長段階に応じた力が身につくよう組み立てられた「就職支援プログラム」で将来への一歩を踏み出そう。

1年次

エニアグラム (職業適性診断テスト)

企業見学 女子学生 キャリアセミナー インターンシップ

企業を实地見学し、仕事に対する興味・関心を高める。業種や働き方に関する視野も広げる。

2年次

就職ガイダンス 学内企業説明会 業界セミナー 筆記試験対策 全員面談 インターンシップ 就活トライアル 就職シミュレーション ほか

就活解禁直後の本学独自の説明会。5日間にわたり本学学生の採用実績がある企業を中心に100社以上参加して行われる。

3年次

就職ガイダンス 学内企業説明会 業界セミナー 筆記試験対策 全員面談 インターンシップ 就活トライアル 就職シミュレーション ほか

就活活動サークルでは、業界・企業研究のほか、実践形式でマナーやコミュニケーション能力向上の訓練も行う。

4年次

就職支援プログラム 学内企業説明会 個別支援 卒業前セミナー

社会人になるにあたって知っておきたい労働法の知識について弁護士から講義を受ける。(卒業直前の2月に実施)

face to face の相談体制

進路や就職活動への不安に個別に対応



面談は予約制。悩みや不安の解消、自己分析や試験対策、エントリーシート等の書き方指導など何でも受け付ける

正課内外の支援に加え、キャリアサポートセンターが重視している一つが個別相談です。

経験豊富な就職指導のスペシャリストが学生の個性を尊重しながら、その時々での不安や悩みに寄り添ってしっかり耳を傾け、的確なアドバイスで疑問や悩みを解決します。

学部ごとに担当者があり、職員一人につき約100名の学生を担当しています。担当者がいることで、在学中の継続支援が可能です。

担当者と教員の間では連携体制が確立しているため、学業と就職活動を無理なく進めることができます。

内定先輩、キャリアサポーターとして後輩を指導

文系2学部の4年生内定者によるキャリアサポーター制度。内定学生はキャリアサポートセンターと連携して、自らの経験を活かしてキャリア教育科目のアシスタントや独自で企画した支援講座を実施しています。平成28年度は7名の4年生がキャリアサポーターとして活動しています。

低学年次の過ごし方や就職に対する不安、内定を得るまでの道のりなど、生きた情報を伝えてくれる先輩学生のサポート効果は大きいものがあります。一方、サポーター学生にとっても、学生生活や就職活動を振り返り、その体験を他者に伝えることで、社会人生活に備える自覚が芽生えることも期待で



就職活動の体験を話す4年生の吉田啓熙さん(左)。「自分にしかできないことがあるはず、何でも全力で取り組んで」「就活はゴールではない」…メッセージは後輩たちの心に届いたようだ

きます。サポーターの一人、総合政策学部の時田祥子さんは、「授業では資料の準備をしたり、グループワークに加わったりします。後輩たちの模範となるよう挨拶や話し方、立ち居振る舞いに注意して臨んでいます」と話しています。

学校の先生になる 使命感、指導力、児童・生徒への共感力を身につける

杏林大学教職課程

平成 28 年度は、保健学部 284 名、総合政策学部 18 名、外国語学部 45 名が教職課程を履修しています。

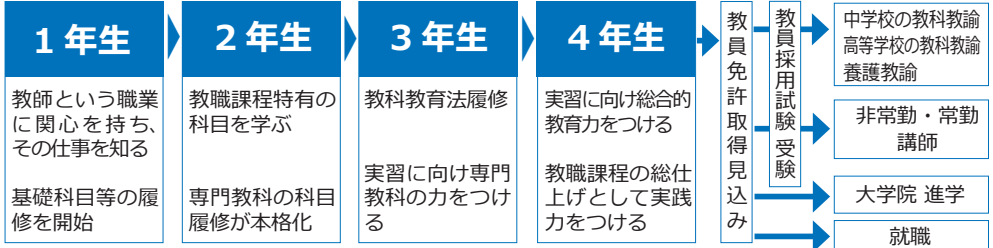
取得可能な教員免許状

保健学部	健康福祉学科	養護教諭一種免許状(小中高特支で共通)	養護
	看護学科 看護養護教育学専攻	中学校、高等学校教諭一種免許状	保健
総合政策学部	総合政策学科	養護教諭一種免許状(小中高特支で共通)	養護
	企業経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
外国語学部	英語学科	中学校、高等学校教諭一種免許状	英語
保健学研究科	保健学専攻	中学校、高等学校教諭専修免許状	保健
		養護教諭専修免許状	養護

現在、教職課程には、科目を担当する専任教員と非常勤講師が 14 名、履修相談や各種実習の手続き、卒業後の連絡窓口などを行う教務スタッフが 3 名います。

教員免許状を取得するためには所要科目の取得、各種実習の実施など満たすべき条件は少なくありませんが、学生が「教員になる」という夢をかなえるべく教職員が連携してサポートしています。

教員免許取得までの主な流れ



2月の教職支援講座では、29年度受験予定の3年生を対象に面接練習を実施。面接官役の教員(右)と卒業生(右から2番目)から、学校現場を想定した場面の対応や具体的な指導法など次々に出される質問に答える学生

教職課程の取り組み 医療系の大学から総合大学へ発展した杏林大学の強みを活かし、「教員」を育てる

教職支援講座

「就職支援」と「教育支援」を目的に開講されている自主参加の講座です。小論文や教員採用試験対策のほか、教員としての資質を磨くことをめざしています。

教職履修者が誰でも受講できるように、昼休みを含む時間割を設定しています。指導するのは校長職経験のある教員などで、講座時間外にも小論文指導等に応じるなど、個別のニーズに対応した指導を行っています。また、学生主体のグループ学習・学び合いで教育法規を集中的に学習するといった機会も設けています。

この講座が確実に学生の成果と結びついていることをうれしく思います。

教職履修カルテ

教員・養護教諭としての知識・技能の習得状況を振り返り、その定着を図るた

めの基礎資料が「教職履修カルテ」です。

Web上で閲覧可能なこの〈学習活動の履歴〉を活用することで、学生はいつでも自分の成長や課題を確認することができます。

現任教員による「教職実践演習」

4年次の秋学期に開講される「教職実践演習」は、これまでの学びを総括し、実践力を高める科目です。

平成 28 年度は、英語や保健体育を教える現役の中学校教員、養護教諭および学校長を講師に迎えました。「話すスピードや立ち居振る舞い、教師になる上での心構えなどがわかった」「現場の先生の本音が伺えた」など学生には好評です。

他学部生と学ぶ「教職実践演習」

「教職実践演習」には教諭用の授業と養護教諭用の授業がありますが、前者では、文系の学部と保健医療系の学

部がある杏林大学の特長を活かして、養護教諭や保健科の教諭、社会科の教諭、英語科の教諭をめざす多様な学生が同じ教室で共に学びます。

専門分野を異にする人との学び合いは、多くの気づきを得て視野を広げる絶好の機会になっています。この恵まれた経験は、実際に教員になってから必ずや生きるはずで

現場を知り、実践力や社会性を伸ばすスクールインターンシップ

1年間にわたり小・中学校の現場と関わるのがスクールインターンシップです。

学校活動全般の支援や児童生徒との交流などをおして、学校教育や子どもへの理解を深めます。

平成 28 年度は 56 名の学生が参加し、〈教師候補生〉として貴重な体験をすることができました。次年度以降

教員免許取得・教員就職状況

	教員免許取得者	教員就職者
H28年度	58名 ※1	26名 ※2
H27年度	64名	18名
H26年度	55名	23名
H25年度	84名	33名

※1)29年2月現在、※2)29年1月現在の内定者数(既卒生含む)
教員免許取得者=卒業年度末時 3/31 現在
教員就職者=卒業翌年度の6/1 現在

は、本学が協定を結ぶ三鷹市や羽村市を中心に、さらに多くの学生にこの機会を提供したいと考えています。

こうした取り組み以外にも、模擬授業や自主学習用に教職課程履修者が専用で使用できる「教職課程演習室」を設け、そこに教育関係の図書をそろえるなど、教員志望の学生のための環境整備に努めています。これらを有効に活用し、教員になるという夢をぜひともかなえてください。

(教職課程委員会委員長/外国語学部教授 齋藤 智志)

大学を飛び出せ! 「産学連携プロジェクト」にみる地域社会での学び

学生や大学にとって地域社会は、生きて知識や経験が学べる実践の場です。社会やそこで働く人たちと接点を持つことは自らの将来の方向性を定める一助となることでしょう。

JR 東日本との協働プロジェクト

昨年 10 月から杏林大学と JR 東日本八王子支社は訪日外国人の多摩エリアへの誘客に向け、協働プロジェクトを開始しています。

参加しているのは総合政策学部の久野ゼミと外国語学部の古本ゼミの学生と、

本学で学んでいる交換留学生と JR の社員の方々です。

これまで実施したことは、八王子、高尾、立川、吉祥寺の各駅を利用する外国人に対して、滞在目的や期間、観光情報の入手法などに関する調査、交換留学生が JR の駅や列車を利用して、外国人の視点から利便性や快適さを検証するモニター調査と調査結果の分析などです。

調査と分析の結果は今後、訪日外国人に対して、多摩エリアの魅力や観光情報を発信して誘客につなげたり、サービス

改善に活かしたりしていきます。

仕事の仕方を目の当たりに

調査や会議に参加した総合政策学部 3 年の滝田菜優さんは「座学の知識をゼミ活動とおして社会で試すことができる新しいチャレンジでした。あったらいいな、と思うサービスも、様々な課題やルールをクリアしなければ、実際のところ社会に提供できる形にならないことがわかりました。何より社会人の仕事の速度や時間の管理に刺激を受けました」と話しています。



学生、留学生、JR社員がグループとなって、JR八王子駅で行った外国人利用者への聞き取り調査

キャリアサポートセンター



キャリアサポートセンター歴 7 年の米津哲也課長。

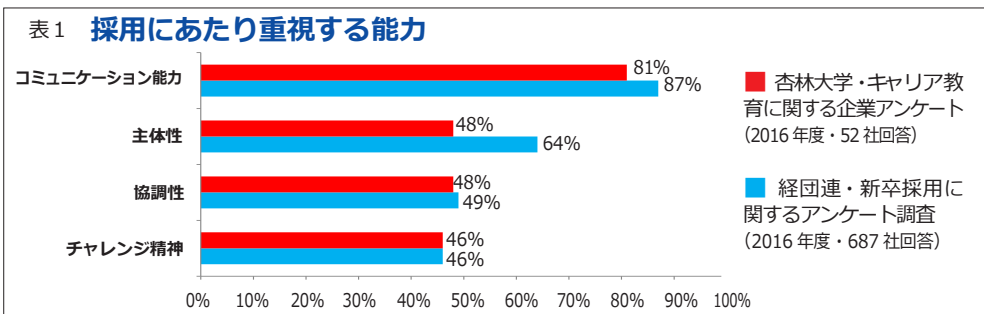
教職員の立場に加え、社会人の先輩として、優しく、時には厳しく学生を見守り続けています。

「学生の成長が自身のモチベーションにつながっています。『すべて学生のため』をモットーに全学生が自ら納得できるキャリアが描けるよう支援しています」と話す米津課長の 1 週間を紙面で再現してみました。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	来校企業対応 卒業生の近況を伺う。採用枠も増えそうだ。(一) 	4年生を引率して新卒募集を続けている企業を訪問 何とかマッチングさせたい... 	学生面談 Aさんと10回目の面談。内定まであと一歩か 	戦術会議 センター内で就活学生の情報を共有し、支援策を検討。内定まで支援を続けます 	久しぶりに来客予定なし たまった資料を整理。部下たちの報告を聞く 	養護教諭受験対策指導 	友人と酒蔵見学 最近では日本酒の魅力にハマり、飲むだけでなく、酒蔵見学も楽しんでいます
午後	学生面談 就活の進捗報告を受ける 	就職委員会 月に一度、教員とセンター職員で就職に関する様々な事例を協議しています 	学内企業説明会 一人でも多くの学生が企業と出会うことを祈って... 	企業と大学の情報交換会出席のため出張 	「キャリア開発論」授業 卒業生 3 名を招き、後輩にメッセージを送ってもらおう。みんなの目が輝いていたのが印象的 	保護者会 現在の就職活動のポイントや、家庭でも学生の精神的な支援にあたってほしいことを伝えました 	夕方より家族との団らん

企業が求める人材 人事担当がみる採用のポイント

企業は採用にあたって何を判断材料にしているのでしょうか。2つの調査データを見ていきましょう。



「コミュニケーション能力」がトップ

赤のラインは杏林大学のキャリアサポートセンターが行ったアンケート調査の結果です。採用にあたって重視する項目を3つ選んでもらいました。

「コミュニケーション能力」をあげた企業が81%ありました。「主体性」の48%を大きく引き離しています。

一方、青のラインは経団連（日本経済団体連合会）が行った調査です。

「コミュニケーション能力」は実に87%に上っています。13年連続トップです。

次いで「主体性」「協調性」「チャレンジ精神」が続いていて上位4項目は杏林大学のそれと一致しています。

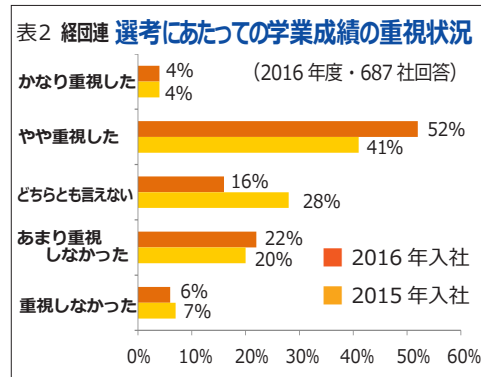
以下、5位 誠実性44%、6位 ストレス耐性36%、7位 責任感24%、8位 論理性24%、9位 課題解決能力20%、10位 リーダーシップ17%の順です。

企業が求める人材像が浮かび上がってきます。

学業成績重視の傾向強まる

経団連は、個別に「選考にあたっての学業成績の重視状況」を調査しています。

学業成績を「やや重視した」は51.8%



先輩に聞く キャリアサポートセンター活用事例

就職活動サークルで苦手意識克服

むとう みのる
武藤 実
 日本郵便株式会社
 千葉県白井郵便局勤務
 (総合政策学部 2016年卒)



コミュニケーションに苦手意識があった私は、「就職活動サークル」に入り、業界研究や企業訪問、卒業生との懇談などをおして就活に備えるとともにコミュニケーション力をあげる訓練をしました。キャリアサポートセンターや仲間と活動する中で苦手意識をなくすことができましたと思います。

他にも複数回にわたる面談や相談、提出書類のチェックなどキャリアサポートセンターは親身に私の就活を支えてくれました。エントリーシート の書き方を指導いただく中で、人とかかわる仕事がしたい気持ちがあることを引き出してくれました。そのおかげで今の自分があると思います。

で、昨年度比で11ポイント増えています。面接やグループディスカッションの内容などとともに、学業成績を採用にあたって有力な判断材料にしていることがわかります。

背景には、業務が多角化し複雑化する中で、企業も学生の「考える力」や「忍耐力」などを一層重視していることがあるようです。

考える力が育まれ、苦手なこともコツコツと地道に取り組む姿勢が見えるのは、日々の勉学であり、その結果が学業成績なのです。

「コミュニケーション能力」とは

企業が最も重視する「コミュニケーション能力」とは、どのような能力で、どうすれば身につくものなのでしょうか。

企業ではグループで仕事を進めていきます。上司もいれば後輩もいます。取り引きなどでは必ず相手がいます。世代も様々です。商品を守るにも、相手が何を求めているかを素早く察知し、わかりやすく、かつ説得力を持ってプレゼンテーションしなければなりません。

相手の話をしっかり理解する一方、自分の主張を的確に表現できて、円滑に会話を進めることができる、それらの総合力がコミュニケーション能力です。

実社会で体験を

コミュニケーション能力をはじめ、企業が求める能力は一朝一夕に備わるものではありません。

企業関係者などは、一つの薦めとして、大学での生活や同世代との交流を充実させるだけにとどまらず、大学から飛び出し、様々な世代の人たちと交流すること

学内企業説明会での出会い

つちだ ゆか
土田 悠佳
 明治商工株式会社
 (外国語学部 2015年卒)



建設現場などで使用する機材のリース品を扱う会社で、営業事務をしています。予想以上に多くの方と関わる仕事ですが、忙しくもやりがいのある毎日です。

キャリアサポートセンター主催の学内企業説明会で出会ったのが、今の会社です。説明会に参加するのは大学が信頼する企業ばかり。少人数で企業の方とじっくり話ができるので、社内の雰囲気なども感じることができました。

めざしていた業界の最終面接に落ちて、ひどく落ち込んでいたとき、センターの職員の方は何度も電話で励ましてくれました。だからこそ、諦めず最後まで就活を続けることができ、結果的に良い会社にも出会えたと思います。

をあげています。

卒業生を始めとした社会人と積極的に接する機会を持つのもよいでしょう。

ボランティアや地域活動を通じてお年寄りの手助けをしたり、地域のスポーツ活動で子どもたちを指導したり……。年齢の異なる人たちと会話をつなぎ、円滑な意思の疎通を図っていくには、相手を気遣い、自分の思いをわかりやすく伝えていくことが求められます。

こうした日々の積み重ねがコミュニケーション力などの向上につながるのです。

面接で何を聞かれるか

採用面接でよく出るのが次のような質問です。

「学生時代にこれだけはやりました、と自信を持って言えることは？」

企業は大学での学業以外に、どんな体験をしたのかに関心を持っています。

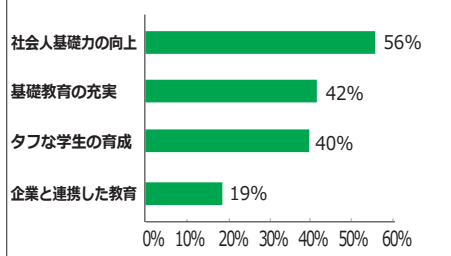
経済同友会の調査(2016年度・872社対象)では、「サークルや体育会等の活動を重視する」が75%、海外経験が50%、アルバイト経験が48%と高い数字を示しています。世代の異なる人たちとふれ合う体験もその一つでしょう。

ただ、企業が求めている回答は体験の豊かさや時間の長さだけではありません。体験で、どんなことに成功し、失敗し、挫折したか。そして、そこから「何を学び取った」のかを見ようとしています。

“学んだこと”を“自分なりの体験”として明確に、具体的に表現できるとよいでしょう。

大学教育への期待と注文

表3 杏林大学 キャリア教育に関する企業アンケート (2016年度・52社回答)



企業は学生だけでなく、大学にも期待をかけています。

学生の皆さんへ

就職の内定を早く勝ち取る学生には共通した特長があります。「大学時代に何かに打ち込んで自信を持っている人」です。

このうち、教室派は学業や海外留学、グラウンド派は部活動、学園の外派はボランティアや地域活動等に懸命に取り組んでいます。

その結果、そういう人たちには知識や体験のストックが蓄えられ、社会人として円滑にスタートできる素地が自然に養われるのです。

せっかくの学生生活です。皆さん、積極的に行動して充実した生活を送り、よい思い出を作りましょう。それが就職への近道です。



キャリアサポートセンタースタッフ

杏林生は「素直で控えめ」?

杏林大学の学生のイメージを聞きました。

- 優れている点
- 素直 まじめ 礼儀正しい
 - 積極的
- 劣っている点
- 控えめ 元気がない
 - アピール姿勢がない



杏林大学 キャリア教育に関する企業アンケート (2016年度・52社対象)

産学連携キャリア支援交換会



企業との最新の情報交換も常に行っています。企業関係者を招いた産学連携キャリア支援交換会もその一つです。

去年の交換会には、およそ170社からこれまでで最も多い290名の人事担当者などが出席し、50名余りの本学関係者と情報を交換しました。中には継続して卒業生を採用している企業も参加しています。信頼できる優良企業との関係を保つことも会の目的の一つです。

保護者の皆さんへ 就職支援ガイドブック〔保護者版〕

家庭での就活サポートのポイントや保護者のための就職活動Q&Aなどをわかりやすくまとめています。



保護者向けの就職説明会などで配布しています。(B5判22頁)

「大学教育に求めること」という問いへの回答です。

まさに、キャリア教育が求められています。杏林大学が、入学初年度から教職一体で積極的に進めている「キャリア教育」や「就職支援」は、年々強くなるこうした社会や企業の要望に対応したものとと言えます。



キャリアサポートセンター長 宮崎 則行

また、特に高学年になったら早めに行動を起こしてキャリアサポートセンター(CSC)にどんどん足を運び就職活動のアドバイスを受けてください。CSCの様々な就職支援のプログラムに参加してください。

CSCを利用したほとんどの人が内定を勝ち取っています。利用しない手はありません。

杏林大学は先輩卒業生が健闘していることや教員とCSCの連携がうまく取れていることなどで過去3年の就職率は90%台半ばの高率を確保して全国平均に肉薄しています。

皆さん、CSCは精一杯支援しますので意を強くして就職活動に取り組んで下さい。

キャリアサポートセンター
 井の頭キャンパスC棟1階
 電話 0422-47-8010
 mail recruit@ks.kyorin-u.ac.jp

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」

3年間の成果と継続に向けて

男女共同参画推進室は、文部科学省の科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」に採択されたことを受け、平成26年度に設置されました。

女性が仕事と生活を両立し、男性とともに能力を十分に発揮して働き続けることができるよう、三鷹・井の頭両キャンパスの推進室を拠点に、きめ細やかな支援体制の確立・推進に取り組んできました。主な取り組みと成果を紹介します。

研究支援員制度を新設

女性研究者が出産・育児・介護といったライフイベントに関わる期間、学部生・大学院生・本学卒業生を研究支援員として配置することにより、研究活動の継続を支援する「研究支援員制度」を設けています。

これまでに延べ40名の研究者(配偶者が研究者である男性研究者9名を含む)がこの制度を利用し、延べ48名の研究支援員が配置されました。

利用された先生方からは「たまっていたデータを入力してもらい、分析に着手できるようになりました」「最初はどうかな?と悩んでいましたが、熱心な学生さんに研究の補助をしてもらい、とても助かっています」との声が寄せられています。

研究支援員からは「研究に興味があったので、実際に関わることができ、良い経験になっています」「私たちの間で結婚、出産ができるのだろうか?と話していたこともありました。医師であり、研究者でもあり、そして母である先生の研究を手伝うことは、色々な面で勉強になります」との感想をいただいています。

ライフイベント・ワークライフバランスに関する両立支援ツール

必要な時に必要な情報へいつでもすぐアクセスできるよう、男女共同参画推進室のサイトには、「出産・子育て支援ナビ」と「介護支援ナビ」があります。

「出産・子育て支援ナビ」では、出産・子育てに関する情報を一元的に集約し、ライフステージ別・目的別にタイムリーな情報を提供しています。

特に、「保活ナビ」(保育園に入園することが難しい昨今、妊娠中からできる保育園に入るための情報コンテンツ)や、「小学1年生の壁」を扱う「学童ナビ」が好評です。

もうひとつ、突然訪れる可能性があるライフイベントが介護です。「介護支援ナビ」は、介護期を迎えるにあたり準備すべきことをまとめた「備え編」、介護の仕組みや制度等が分かる「基礎知識編」、介護認定やケアマネジャーについて理解を深める「介護実践編」、そしてニーズが高い認知症を知るための「認知症編」で構成されています。

この情報は手元にも置いておきたいとのリクエストが多かったことから、『出産・子育て支援ハンドブック』『介護支援ハンドブック』としてコンパクトな冊子にまとめ、三鷹・井の頭両キャンパス



東京都女性活躍推進大賞贈呈式に出席した学長と推進室員(上)

三鷹キャンパスの託児スペース(左下)。ハンドブック&ロールモデル集(右下)

の男女共同参画推進室、総務部人事課で配布しています。

両キャンパスの男女共同参画推進室には、産後間もない女性研究者が安心して復帰できるように、授乳・搾乳等が可能なスペースがあります。このスペースは、本学で学会やセミナー等が開催される際は、託児スペースとして利用できます。

大好評のランチョンセミナー・トワイライトセミナー

男女共同参画ならびに研究力向上を目指し、シンポジウムやセミナーを数多く開催してきました。

特に好評だったのは、昼休みや就業後の短い時間を有効に活用したセミナーです。「そうだ!〇〇先生に聞いてみよう」「プレゼンについて考えよう!」「仕事について考えよう!」「パワーハラスメントの基礎知識」等、多彩なテーマで役立つ情報を提供しています。

東京都女性活躍推進大賞受賞!

ロールモデル集『Annes』(vol.1~3)の発行やメンター制度・相談体制の確立など、地道な活動に加え、女性研究者の在職者比率が目標を一年前倒して達成(教授21%、准教授36%)したことなどが高く評価され、平成28年度「東京都女性活躍推進大賞(教育分野)」を受賞しました。

これは、意欲と能力に応じて多様な生き方が選択できる社会の実現に向け、女性の活躍を推進する団体等を表彰するものです。表彰式では、小池都知事から跡見学長に表彰状と記念の楯が贈られました。

文部科学省・女性研究者研究活動支援事業の助成期間はまもなく終了しますが、男女共同参画推進室を中心に、本学では女性も男性もいきいきと働きやすい環境の整備・実現をめざしてこれからも活動を推進してまいります。

(男女共同参画推進室 室長 河田 香苗
コーディネーター 江頭 説子)

文部科学省支援事業 「大学教育再生加速プログラムテーマⅢ(高大接続)」

高大連携 次のステップへ アドバンストプレイスメント開始

杏林大学は、現在東京都と神奈川県公立・私立高等学校8校と高大連携の協定を結んでいます。

学内外で多様な連携

これにより、井の頭キャンパスでは図書館や事務部門でインターンシップ、海外研修に備えた保健学部での事前実習、学部授業への特別聴講等を、三鷹キャンパスでは医学部での基礎医学実習を行っています。

また、本学教員が高校へ出向いて行う講義やワークショップなども実施しています。

3月にはこれまでで最も多い22名の高校生が参加して、在学生や留学生とともに

「第3回日英中トライリンガル・キャンプ」を実施します。ここでは、参加者が平易な中国語で自己紹介をしたり、グループごとに、与えられたテーマについて議論し、それらをまとめたものを、英語で発表します。

大学で取得した単位を認定

4月からは、高校生が本学の授業を受け、入学後の単位として認定されるアドバンストプレイスメントを開始します。

近い将来、本学だけでなく複数の大学間で提携して、その中のどの大学に入学しても単位が認定される制度を構築していく予定です。

文部科学省支援事業 「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」

杏林大学 上海外国語大学 ゼミ交流&協働研究発表会 開催

昨年5月から9月にかけて、英語学科坂本ロビン教授のゼミ生15名と中国語学科宮首弘子教授のゼミ生9名は上海外国語大学の学生30名程と交流、協働研究発表会を行いました。

これは、協定校である上海外国語大との交流の中で、最も規模の大きなものです。

まず5月に、「SNSと日中交流」などをテーマに2度のオンライン議論を行い、その後グループ調査を進めました。

9月には、杏林大の学生達が上海外国語大を訪問して、議論を深めた後、協働研究発表会を実施しました。

杏林大の学生は英語または中国語、上海外国語大の学生は、英語または日本語で発表しました。その後、本学に会場を移し、同様の発表会を開催しました。



井の頭キャンパスで行われた発表では、本学の学生が英語、中国語に同時通訳する等、日頃の学習成果も披露された

大学からのお知らせ

6月24日 学園創立50周年記念式典を開催

1966年、学校法人杏林学園設立とともに衛生検査技師養成を目的とした杏林学園短期大学が設置されました。

それから半世紀を経て新たな歴史を刻み始める新年度の6月24日(土)、東京・新宿の京王プラザホテルで創立50周年記念式典を開催します。

『杏林学園五十年史』の編集



学園創立50周年の記念事業の1つとして、年史の編集が進んでいます。

年史は『杏林学園十五年史』やバックナンバー400号を超える学園会報あんずなどで使用した写真のほか、昨年開設した井の頭キャンパスの写真などを納めた“写真で綴る”形式となっています。

6月の記念式典で出席者にお渡しするほか、学園関係者に配布します。

井の頭キャンパス 震災時 市民の一時避難場所に

杏林大学と三鷹市は昨年10月17日、敷地利用に関する協定を締結しました。一時避難場所とは、「大地震発生に伴い市民が一時的に避難し、安全を確認した後、帰宅し、または避難所への移動を行うための場所」をいいます。協定では、利用場所は構内東側のキャンパスプラザ約4,500㎡で、避難期間は原則として大震災発生日から最大翌日までの間となっています。

杏林見聞録 8

は せ がわ ひろし

医学部長谷川 浩 准教授



略歴：千葉大学医学部卒業。慶應義塾大学医学部老年科、北里研究所病院内科、米国 Wake Forest 大学医学部循環器科を経て 2003 年杏林大学に着任。高齢診療科、もの忘れセンター医師。

高齢運転者の運動能力を評価

最近、高齢ドライバーがブレーキとアクセルを踏み違えて歩行者の列に突っ込んだり、高速道路を逆走して正面衝突したりするなど重大な事故が頻繁に報道されるようになりました。

現代の車社会における事故防止を目指して、自動ブレーキや車間距離維持装置、車線逸脱防止装置など、自動車の安全運転支援システムの開発が世界で急ピッチで進んでいます。これらの技術は、運転が難しくなった高齢者においては事故の予防や移動手段の確保の観点から特に有効であると考えられます。

一方で、こうした運転支援技術を利用するドライバーの操作対応や心理面についてはまだ十分に解明されておらず、国際的にも高い関心が寄せられている現在進行中の議論なのです。

本研究は、まずは軽度認知機能低下を含む高齢ドライバーの運転能力を評価し、運転支援のあり方を検討しようというものです。



教員の研究活動やユニークな取り組みを紹介するこのコーナー。第8回は「高齢ドライバーおよび軽度認知機能低下ドライバーにおける安全運転支援の評価方法」をテーマに研究を行っている医学部高齢医学教室の長谷川浩准教授です。本研究は独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所（東京・調布市）と共同で、2014年11月から2016年度まで約2年半にわたって行われました。研究はまだ初期的な段階ですが、これからの高齢者の自動車運転支援のヒントが得られ、今後も共同研究の継続が予定されています。



交通安全環境研究所内の定置型ドライビングシミュレータ。13名の高齢者の協力を得て実験が行われた

自動車運転シミュレータによる実験

まず、高齢のボランティアを募り、男女5名ずつ計10名（平均年齢68.2歳）に参加してもらいました。

軽度認知機能低下の方については杏林大病院もの忘れセンターを受診し、軽度認知機能低下と診断された患者さんの中で協力の得られた男性3名（平均年齢77歳）に参加してもらいました。

この13名の方に、交通安全環境研究所でドライビングシミュレータを使った実験に参加してもらいました。

想定は、片側1車線の市街地の直線路を時速50km制限で走行中に、次の危険事象がランダムな順序で発生したとしました。①左側からの子どもの飛び出し、②黄色信号、③見通しが悪い交差点における車の進入、④先行車の減速、⑤自転車の道路へのはみ出し、⑥横断歩道で待機する歩行者に対する運転行動。

そしてこれらの危険因子が単独で発生する場合と、同時に別の危険因子が加わる場合の2種類を比較し、運転者のアクセル操作、ブレーキ操作、車間距離、衝突までの時間を観測しました。



子どもが車の陰から飛び出した時にどう対応するかを判断する、シミュレータでのCG画面の例（2016年12月の日本認知症学会学術研究会のポスター発表実験資料より）

自動安全運転支援システム導入後の支援も検討へ

今回の研究を通して高齢ドライバーは、複数の対象が存在する場面において、特に歩行者や自転車などの比較的小さい視認対象に対する注意が欠落する可能性が示唆されました。

こうした特徴を高齢者・軽度認知機能低下のドライバーに伝え、指導することにより安全運転への支援となる可能性が考えられます。

高齢者の運転時の問題点を客観的に明らかにすることは、実際に運転を行っている地域の高齢者に対して、非常に実効性のある運転支援方法が確立できると考えられます。

またこの結果は同じく高齢ドライバーの問題をかかえる諸外国においても有用と考えられ、国際的な評価指標の確立に大きく貢献できると思われます。

現在、杏林大学もの忘れセンターの脳画像、認知機能を含む心理検査と交通安全研究所での運転検査との結果を連結し、脳や認知機能の変化が運転能力にどのような影響を与えるのかを検討しています。

さらに本研究で得られる結果を一般化することで、かかりつけ医のレベルでも

複数の事象が重なると対応に遅れ

- 一般高齢ドライバーの特徴
- ・子供が車の陰から飛び出すような場面では対応が遅れる。
- ・信号機の変化や他車両に対しては、紛らわしい別の事象が発生する場合でも、対応できる。
- ・単独の歩行者や自転車などに対しての減速は、対向車がいる場合よりも少ない。

軽度認知機能低下高齢ドライバーについては、実験が完遂できなかったケースがあり確定的なことは言えなかった。しかし、これら一般高齢ドライバーに見られた傾向がより顕著になる可能性がうかがえた。（交通安全環境研究所 関根道昭氏）



交通安全環境研究所自動車研究部の共同研究者。右から関根道昭さん、榎本恵さん、森田和元さん

簡単な心理検査、運動検査、画像検査を行い、簡易的・客観的に運転継続能力の判断ができる可能性があります。

本研究は一部軽度認知機能低下の方も対象としていますが、これは実際には地域の高齢ドライバーの中に多く含まれると考えられるため、得られる結果は広く高齢運転者問題の解決の有力な一助となる可能性が高く、意義深い研究であると考えています。

今回の共同研究は今後も継続することで双方の意見が一致し、開発が進む自動安全運転支援システムの有用性の検討など、さらなる高齢ドライバーの安全運転支援をめざしていくことにしています。

キャンパス紹介

井の頭図書館

井の頭キャンパスC棟2階～4階

"知的創造フロア" ラーニングコモンズ

コミュニケーションを取りながら学習ができる2階のラーニングコモンズには、グループ学習室が6室、オープン学習エリアが102席あります。

授業やゼミの課題や国家試験対策、プレゼンテーション練習などで学生達が盛んにグループ利用しています。グループ学習室は原則予約制です。

井の頭図書館

- 開館時間：8時30分～22時30分（休館日：年末年始、創立記念日〔11/11〕）
- 蔵書数：約17万冊
- 学習席数：528席
- フロア概要
- 2階：ラーニングコモンズ
- 3階：人文・社会科学系フロア
 - 閲覧室、個人学習室、AVブース室ほか
- 4階：自然科学系フロア
 - 閲覧室、リフレッシュルーム ほか

活発な学生の利用状況

徒歩で行き来できる三鷹キャンパスで学ぶ医学部生や保健学部看護学科生の利用も増えています。平日の平均利用者数は延べ約1,000人で、貸出図書数ともに昨年度の約1.6倍となっています。館内貸出PCやグループ学習室の利用とも開館当初より増えています。また、閉館時間まで利用している学生も多くいます。

館内で活躍する学生スタッフ

サポートデスクは大学院生が週3回、調べものやレポートの書き方などを支援します。また、図書の貸し出しや整理などは学生スタッフも行っています。

図書館の全般的な利用法や不明な点はカウンターでお問い合わせください。

展示・イベントを楽しもう

2階の展示エリアでは、洋古書、源氏物語絵巻の複製品など図書館が所蔵する貴重な資料を見ることができます。

展示に合わせて、教員がミニレクチャーをセミナー室で定期的で開催します。他にも、ゼミの研究発表や写真部や書道会などの活動作品を展示するなどしています。



ラーニングコモンズでレポートや課題にグループで取り組む学生たち。館内には58台の貸出パソコンが備わる。学生証があればPCロッカーから自由に借りることができる。作成したデータは館内の印刷コーナーのほか、学内に設置されている学生用プリンタから出力が可能



グループ学習室では保健学部の学生が勉強中。「週に一度利用しています。模試の後など、分からない点を教え合ったりしながら勉強できるところがいい」と話す臨床工学科の石黒雄大さん（写真右）



ラーニングコモンズの中央に設置された記念碑「天秘（てんぴ）」。世界的な彫刻家、安田 侃（やすだ かん）氏の作品。火が織りなす模様は唯一無二。ご自由に触れてください

卒業生リレー

毎日を自分らしく

国立研究開発法人 国立がん研究センター
中央病院臨床検査部 免疫血清検査主任

まつお りえ
松尾 理恵 (保健学部 2002 年卒)

専門性を高めながら今の仕事へ

国立国際医療研究センター(新宿)、国立病院機構埼玉病院(和光)、国立病院機構災害医療センター(立川)を経て、現在、国立がん研究センターで働いています。3人のスタッフで1日500~600人分の病棟・外来患者の腫瘍マーカー、感染症の検体検査を行っています。

国立病院は異動があるので、就職先として敬遠する学生もいますが、専門に特化した特色ある病院で働くことで確実に視野は広がります。

日本で初めて中央検査部制度が導入された国際医療研究センターで、検査に対する考え方や効率的な仕事法を学べたことは私自身の基盤となっています。

埼玉病院では生理機能検査を担当し、超音波検査士の資格を取得し、地域医療



連携サービスを利用した腹部超音波検査を実施していました。

災害医療センターでは事故などの緊急手術が多く、検査もよりスピードが求められます。輸血検査を担当した患者さんが、車いすに乗れるまで回復し、外来に来たときは、仕事に大きなやりがいを感じました。そしてこの先も命をつなぐ仕事に携わりたいと心から思いました。

今は、一般病院では行っていない、がんに特化した検査をしています。この経験も自分の強みになると思っています。

幼いころの入院生活

幼いころ心臓関係の病気入院生活をしていました。退院後も定期的に大学病院で検査を受けていましたが、高校生になると、先生は検査データをもとに診断をしていることがわかってきました。その

頃から臨床検査技師として、患者さんの治療を支えたいと思うようになりました。

大学時代の思い出

村椿春博先生の臨床化学の授業は、面白かったです。先生は気づかなかったと思いますが、実は録音してあとから聞いたりしていました(笑)。

それから、病理学に興味があったので、研究室に入るなら、大河戸光章先生のとこと決めていました。

現場では多くの人と関わる

心臓カテーテルの治療に携わった時の話です。治療には医師、レントゲン技師、看護師、検査技師がチームであたりましたが、医師から、「(医師が治療しやすいよう)もっと動きなさい」と、とても厳しい口調で指摘されました。

その時は驚きましたが、自分の役割を果たすだけでなく、周りを見て、できることを率先して行うこともチーム医療には必要で、それが速やかな治療、患者さんの負担軽減につながると教えてもらいました。

検査技師は、患者さんに検査や治療について説明することもあります。専門用語をなるべく使わない、年上の人や子ど

もに対する説明の仕方は変える、などがかけています。また、医師に、検査結果やデータの理由をきちんと説明することも必要です。

コミュニケーションは患者治療にもとても大事なことです。

仕事と育児とキックボクシング

武勇伝に事欠かない息子の子育てと仕事でいつもばたばたしています。その割に、意外と運動できていないもので、10年ほど前から、キックボクシングをしています。心身ともにリフレッシュできる大事な時間です。

子育てしながら働くには家族の支えと周囲の協力があってこそ、といつも思っています。

学生の皆さんへ

皆さんはしっかり目標を持っていると思うので、それに向かっていってほしいです。

この世界では、日々進歩する検査機器や診断に対応できる知識が必要になります。在学中に学んだ知識は重要ですが、それ以上にはなりません。

卒業しても勉強の日々ですが、共に頑張りましょう。

在学生リレー

大学生活も競技も
発見や挑戦が楽しい

きむら なつき
木村 南月 (外国語学部英語学科 1年)



大学らしいと感じる授業

短い会話文を暗記し、先生から発音やアクセント、イントネーションなどの細かい指導を受ける授業 PEP (Practical English Program) や他学部の学生とグループを組んで学ぶ「地域と大学」は大学らしい授業と感じます。

この「地域と大学」で、私たちは「地域防災における学生の役割」をテーマに調査・発表を行いました。他のグループの資料のまとめ方や発表法は参考になる

点も多かったです。

人前で発言するのは苦手ですが、授業で発表する機会はだんだん多くなると聞いているので頑張りたいと思っています。

改めて日本語を学ぶ

これまで「日本語を学ぶ」意識がなかった私にとって、金田一秀穂先生や嵐洋子先生、楠家重敏先生の授業はとても新鮮です。文化・宗教と言葉の関係、語彙や文法、発音の関係、歴史関係などから日本語を探っていく考え方はとても面白いです。

外国人の友人に簡単な日本語を教える時などに参考にしています。

トランポリンで全日本へ

小学生のころから6年間チアリーディングを経験し、高校生からトランポリン競技を始めました。現在は地元町田市のクラブチームで週3回活動しています。

これまで、国内の大会のほか、ハワイや香港などで行われた大会に参加するチャンスがありました。競技をとおして10代から40代まで幅広い年代の選手と交流するなど、とても楽しく活動しています。

いま取り組んでいるのは、後方宙返り1回ひねりと前方宙返り1回半ひねりの連続技です。5月の東日本学生トランポリン競技選手権大会、8月の全日本学生トランポリン競技選手権大会で演技できるよう練習しています。



クラブで練習する木村さん。1回の演技は10本のジャンプで構成される。女子の国内トップクラスの選手はこれを16秒かけて跳ぶと言われる。木村さんの自己ベストは14秒。「技の難度、演技、跳躍時間を考慮して演技プログラムを組み立てます」と話す

キャンパス紹介

学生支援課

井の頭キャンパスC棟1階

みんなで創る
快適なキャンパスライフ

学生支援課はキャンパス移転に伴い、「学生支援課の挑戦」を職場の合言葉に、平成28年度は主に5つの取り組みを実現しました。

①混雑回避のためのタッチパネル式受付システムの設置、②学生支援課公式LINE@や③Beaconシステムによる情報発信、④キッチンカーの導入、⑤「学生ご意見(要望)箱」の設置です。

このうち「学生ご意見箱」は、学生の生の声をキャンパス創りに活かそうと始めたものです。専用WEBページからの投稿と学生支援課前に設置した箱に投函する、2とおりの方法で意見を寄せてもらいました。

投稿内容は食堂、通学、施設に関する



揃いのユニフォームで登場した学生支援課職員。優しく、時に厳しい指導は学生生活を楽しく過ごしてもらいたいから

ものが多く、これまでに約150件寄せられ、これらの意見・要望は「回答」「協議・検討」に分け、学生支援課前の掲示板で報告しています。

食堂の席数やメニューに関する意見に対しては、教職員や他部署の協力を得て飲食可能な教室を増やし、学生優先の時間を設けました。また、今後増加が見込まれる自転車通学希望には平成29年4月から運用を変更することで、駐輪許可台数を収容台数の120%(*)まで増やすことにしました。(*毎日の駐輪場利用率を調査した

うえ試算し決定)

他にも、図書館、トレーニングルームやトイレの利便性向上など様々な意見・要望・提案が寄せられています。学生支援課だけでは回答出来ないものは、関係部署に内容を伝えて回答してもらうなど、大学全体で対応しています。

実行には時間がかかるものや内容によっては出来ないこともあります。また、交通マナー遵守が行き届かなかったり、時に学生の側から厳しい意見もあつたりして気分が落ち込むこともあります。そ



学生支援課に設置された掲示板。意見等は毎月回収され、それぞれの意見に対する回答や協議・検討事項が貼り出される



1月にはキッチンカーが登場。4日間でタコライス、ケバブサンド・ケバブ丼、ジャマイカ料理、鶏鉄板飯が販売された

れでも課員一同、「学生生活をよりゆたかにするために」を常に考えて、学生と向き合っています。

学部・大学院トピックス

医学部

外科医を志す医学生を対象とした外科手技の体験実習の取り組み 外科学教室(呼吸器・甲状腺)



腹腔鏡下手術トレーニングシミュレータ(左)は、実際の腹腔鏡下手術の視覚と触覚が再現されるため、リアルな訓練が可能。機器本体から伸びる2本の鉗子を操作する様子を画面で確認しながら訓練する基本手技を指導する田中良太講師(右写真奥)

体験教育の重要性

医学部では、5年次に行う臨床実習で基本的な診療技能を習得します。

臨床実習の内容は文部科学省と厚生労働省が合同で臨床研修制度のあり方を検討し、2008年に「医学教育モデル・コア・カリキュラム」として改訂されました。

このうち「医師として求められる基本的な資質」7項目の一つとして、「大学および地域の医療機関等における体験学習や臨床実習等の多様な経験を通して、全身を総合的に診るための実践的能力(統合された知識、技能、態度に基づく総合的診療能力)を具有する」と記されています。以前にはない体験学習と臨床実習の必要性が説かれています。

4年次と6年次に行われる客観的臨床能力試験(臨床実習を行うための能力が身についているかを試す実技試験)などは、そういった取り組みの一つです。

外科手技の習得

厚生労働省の定める「臨床研修の到達目標」として26の基本的な手技の習得が求められています。

結紮(けっさつ・糸結び)、皮膚縫合もそれらに含まれていますが、臨床実習の限られた時間の中で、こうした外科手技を習得する機会は十分ではありませんでした。

こうしたことから、外科学教室(呼吸器・甲状腺)では、2016年4月から田中良太講師による基本的な外科手技(結紮・縫合)の体験実習をクリニカル・シミュレーション・ラボで実施しています。

田中講師は2015年3月までの2年間、米国シカゴ大学エバンストン病院でシミュレーション・ラボのスタッフとして外科教育に従事していました。

米国での経験を活かして、復職後は日常業務の傍ら、将来外科医を志す医学生の指導を行うことになりました。

外科学の面白さを伝えたい

手術手技の習得には長い年月を要しますが、一つずつ課題に取り組んで得られる達成感は、そのことを楽しむ満足感へとつながります。

例えば、サッカーやテニスなどのスポーツ、ピアノなどの音楽に取り組ん

で、スキルが上達していく感覚に似ています。

医学生だから、まだ手技を覚えるには早いということはありません。シミュレータで訓練を重ね、外科手技が上達していく面白さを少しでも多くの学生に味わってもらいたいです。

(講師 田中良太)

外科手技を楽しく学び、技術の向上をめざす

ひも倶楽部で基本的手技をマスター

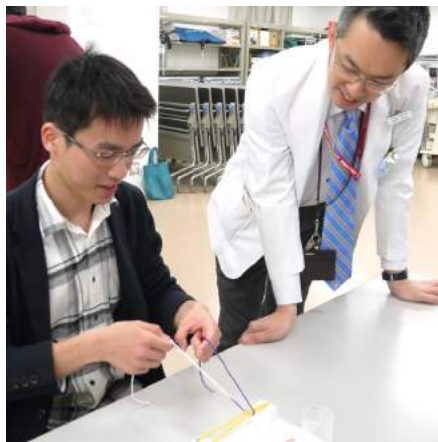
ひも倶楽部は、毎週火曜日の昼休みにクリニカル・シミュレーション・ラボで、基本的な外科手技などを身につける活動をしています。

プログラムは参加学生のレベルにあわせて設定しています。まずはもっとも基本的なタスクである「結紮」から始め、米国外科学会で用いられている基準に合格すると「縫合」へ進みます。

【実施状況】(1年から4年の希望者)

2015年度 20名

2016年度 26名



「ひも倶楽部は4年生の相澤陽太さん(左)との出会いから始まりました。有志の会なので強制されずに誰でも自由に参加できます」と田中講師(右)は話す

2017年度 臨床実習プログラムに

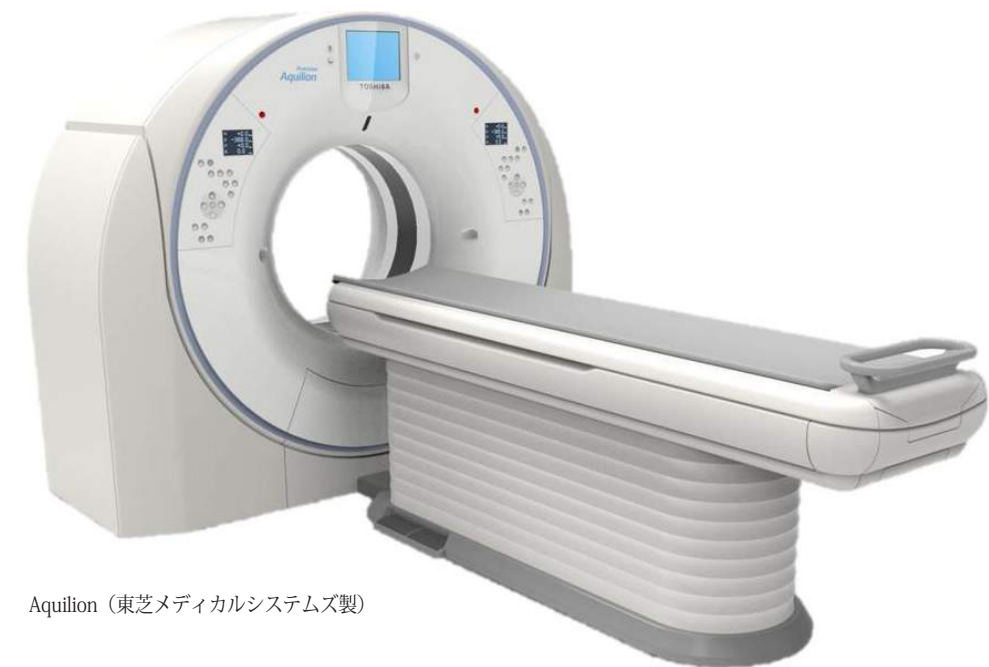
外科学教室(呼吸器・甲状腺)では、2017年度より5年次に行われる臨床実習のプログラムに結紮、縫合を習得する項目を追加します。

また、内視鏡の手技を習得するため、腹腔鏡下手術トレーニングシミュレータを使って実際に処置に使用する鉗子を操作して結紮、縫合の手技を訓練したり、バーチャルリアリティを体験できるシミュレータを用いて、さまざまな想定で内視鏡手術を行う体験ができるカリキュラムになります。

外科学(呼吸器・甲状腺)実習プログラム(一部)

1週目	月	午前	カンファレンス、手術
		午後	手術、回診
	火	午前	回診、臨床講義
		午後	外科シミュレーションほか
	水	午前	カンファレンス
		午後	手術、回診
	木	午前	回診
		午後	回診、臨床講義
	金	午前	カンファレンス、口頭試問
		午後	臨床講義(画像診断、読影)

付属病院に世界初、新型超高精細 CT スキャナを導入



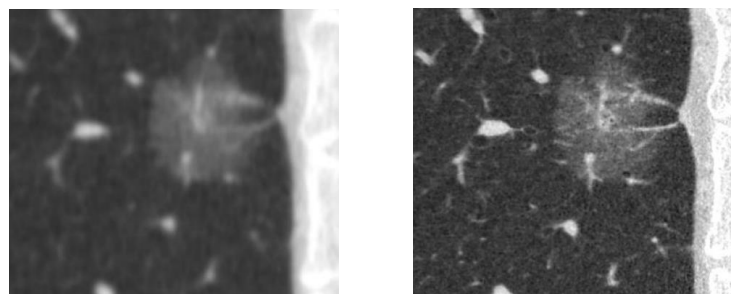
Aquilion (東芝メディカルシステムズ製)

CTの技術進歩がもたらすもの

医学部付属病院放射線部に東芝メディカルシステムズが開発した新型超高精細CTスキャナ装置「Aquilion」を導入しました。

このCTスキャナは、従来、最も薄いとされていた撮影スライス厚0.5mm間

隔の半分の0.25mm間隔の検出器を備えており、また、1度に撮影できる画像は従来の64枚から128枚となります。近年、CTスキャナの進歩は目覚ましく、この装置により高精細な画像を一度に広い範囲で撮影することが可能となり、より侵襲性の少ない検査が提供できるよう



従来型のマルチスライスCTによる断面画像(左)と超高精細CTの画像(右)。超高精細CTの画像の鮮明さは明らか

になりました。

この0.25mmの検出器を搭載したCTスキャナを開発したのは同社のみで、当院への導入が世界第1号となります。また、このCTスキャナは、2017年2月1日に保険適用が認められています。

病巣の早期発見と正確な診断

放射線部の似鳥俊明教授は、「今回導入したCTスキャナで画期的な空間分解能の向上が得られ、CTの世界では夢であったものがようやく実現しました。微

細構造の描出を可能にし、病巣の早期発見、正確な診断に大きく寄与することが期待できます」と話しています。

2017年4月運用開始

新しいCTスキャナの運用開始を前に、放射線部では、CTを担当する診療放射線技師10数名が医療機器研修を受講します。

そして試験運用を行った後、4月から万全の体制で新しいCTスキャナの検査を行うことにしています。

保健学部

確かな知識と高い技術を持つ放射線のスペシャリストを育成 診療放射線技術学科

診療放射線技術学科は、医療機関において、エックス線撮影やCT検査、放射線治療のほか、超音波やMRI検査などを行う診療放射線技師を育成しています。平成25年4月に開設した本学科は、平成28年度に全学年の学生が揃いました。

学科教育の特長や安全対策、診療放射線技師に対する社会のニーズなどを山本智朗教授に伺いました。

先進医療に対応できる教育環境

多くの大型医療機器を設置していますが、特に実習室の3テスラという高磁場MRI装置は精度の高い正確な検査が行えるため、先端医療に対する教育・研究に大変有効なツールです。

さらに大規模病院同様に、全ての大型医療機器を専用ネットワークで繋ぎ、医用画像処理コンピュータで3次元、4次元画像として解析できる医用情報処理環境を整えました。

4年間の学び

1年次は、診療放射線技術を学ぶための基礎力などを身につけます。2年次は、専門的職業人となるために必要な知識や技術を学びます。3年次は、演習や実習で実践的な力なども身につけます。4年次は、卒業研究、国家試験対策を行いながら就職・進学に備えます。

このように早期から講義と演習を組み合わせ、体感的にも知識と技術が身につくカリキュラムになっています。

安全に学習するために

無用な放射線被ばくがないように、装置に触れる前に教育訓練および確認

講義科目・実習（一部）

1年	2年	3年	4年
英語、教養科目、 疾病の成り立ち、 解剖・組織学実習 ほか	放射化学、放射線計測学、 画像解剖学、画像医学、 関係法規、医療画像情報学 ほか	診療画像検査技術学 医療システム情報学 放射線治療技術学実習 ほか	医療安全学 医療総合演習 卒業研究

試験、使用時に個人被ばく線量計で放射線被ばく管理をしています。

放射線を扱わない高磁場MRI装置なども、重大事故を避けるために特別な取扱いが必要です。実習前には、複数のチェックを行うほか、装置の日常点検および定期点検を実施しています。

非常事態に対応できる力も身につける

福島県原発事故により、国民の放射線への関心は非常に高くなっています。最も身近な放射線のプロとして、非常事態にも迅速適切に対応できる能力を身につける必要があります。

実習では食品などに含まれる微量な放射線を測定できる専用装置や、環境放射線を測定できる携帯型の測定機器などの取り扱いも学びます。また、放射性同位元素の取り扱いや分析も専用の実験室で行うなど、放射線スペシャリストを育成する教育を行っています。

診療放射線技師のニーズ

乳がん検診でのマンモグラフィ検査は、撮影室内で乳房を直接触る必要があります。女性技師が撮影する施設が多くなっています。本学科の男女比も0.9:1.1と若干女子学生が多いです。

欧米に比べ、男性技師が多い日本ですが、求人では女性技師のニーズがやや高くなっています。しかし、全国的にはまだ技師自体が不足しており、男女とも求人数が多いのが現状です。

高い技術と人間性を備えた技師を育成

放射線を人体に照射して検査を行うため、技師には高度な知識と技術が要求さ



実習室のデジタルマンモグラフィ装置。医療現場で実際に使用されている機器で実習を行う

れます。医用画像装置の進歩は極めて速く、安全な検査を行うためには常に最新技術を学ぶことも必要です。

そのため、生涯勉強の心構えを持てる人材を育てたいと思っています。同時に、チーム医療の一員として他者と信頼関係が構築できる人間性を兼ね備えた技師を育てたいです。

診療放射線技師をめざす人へ

診療放射線技師は高度な医療機器を扱い、先端医療に関わる重要な専門医療職です。やりがいのある仕事ですが、同時に重い責任も伴います。さらなる技術の進歩に伴い、高度な知識と技術を持った人材が求められます。医療人としての自覚と誇りをもって頑張ってもらいたいです。

(診療放射線技術学科教授 山本 智朗)

卒業研究発表会で初の試み「ポスターセッション」

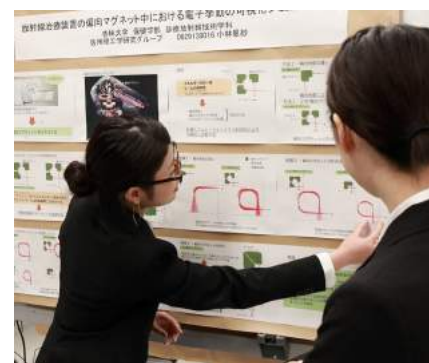
診療放射線技術学科は保健学部で初めて、卒業研究発表会で「ポスターセッション」を実施しました。

研究内容を他者に伝えること、議論を行う重要性を学んでもらうことを目的に導入したもので、昨年9月24日に4年生58名がポスターもしくは口述で発表を行いました。

学生は指導教員のもと、テーマ選定、研究、発表準備、論文執筆までを約10カ月かけて行いました。

ポスターセッションは、演者がポスターの前に立ち、閲覧した教員や学生と質疑応答を行う「個別自由検討形式」で行われました。

指導教員の松友紀和講師は「実際の



発表後、教員と学生の投票で選ばれた優秀発表者には表彰状が贈られた

学会と同じ方式で発表を行ったため、学生たちは、研究することの意義やプレゼンテーションの大切さを理解できたようです」と話しています。

地域活動

まちの魅力発信！商業施設と協働 地域のガイドブック発行

学生と三鷹駅構内の商業施設アトレヴィは、駅周辺の商店街や三鷹地域を拠点に活動する団体などを紹介するガイドブック「みたから vol.2」を2月に発行しました。杏林大学と株式会社アトレは昨年9月に地域貢献パートナー協定を締結し、地域の活性化を目的とした事業に取り組んでいます。そのうちのひとつがガイドブックの制作です。昨年12月に発行した「みたから vol.1」に続くもので、今回は総合政策学部連邦徹夫教授のゼミ学生9名が参加しました。

学生はアトレヴィ社員との企画会議を経て、サッカーチーム「東京武蔵野シティFC」や企業、飲食店や地域の見どころなどを紹介するため、取材を行いました。

制作に携わった2年生の色川瑛二さんは、「企画会議で、これからの季節にピッタリのお花見情報を提案したところ、採用されました。飲食店の紹介コーナーを



学生が取材したページ（手前）と地元のイラストレーターが描いた表紙

担当したので、お店を取材し、いろいろな話を聞かせてもらいました。皆でアイデアを出し合って取り組んだものが、ガイドブックとして発行されました。多くの人に見てもらえることにやりがいと喜びを感じています」と話しています。

「みたから」は今後も継続して発行し、アトレヴィ三鷹館内などで配布しています。

ボッチャ 学生審判員が活躍

本学では、理学療法学科の学生を中心に2014年11月からボッチャ審判員を養成しています。現在、卒業生を含め40名が日本選手権などの大会審判員として活躍しています。

この3月には新たに30名の学生が審判員資格の取得試験を受験します。

資格取得に向けた指導などは、日本ボッチャ協会公認上級審判員の資格を持つ理学療法学科の一場友実講師が行っています。選手の中には、重度脳性麻痺もしくは同程度の四肢重度機能障がいをもつ人もいます。そうした方のストレッチ

は、国家資格をもつ理学療法士が行うことが望ましく、理学療法士をめざす学生が、審判員として、またトレーナーとして医学的にはもとより多面的に選手のサポートにあたることは非常に理にかなっています。

一場講師は、「国内ではボッチャの審判員が不足しています。一人でも多くの学生が東京パラリンピックで審判員として活躍できるのが目標ですが、トレーニングをサポートすることで選手育成にも貢献できます。多くの方と関わることで学生自身の成長にも繋がります」と意欲的です。



練習会に参加した学生と教員。杏林大学は東日本の大学で最も盛んに審判員、選手トレーニングのサポートを行っている

総合政策学部

専門分野への理解が深まる「学際演習」

「学際演習」は、専門の異なる複数の教員のもと、少人数で体験型プロジェクトとして行われるユニークな授業です。

2年次から始まる学際演習は春・秋学期あわせて12講座行われました。

一つのテーマを例に、各分野の視点を交えて議論することで、様々な問題や解決の糸口が見えてきます。演習を機に個々の専門への理解も深まります。



28年度は「災害時の対応と役割分担」「地域の活性化対策」「社会情勢と投資判断」「スポーツと社会の関係」「国際交渉力と異文化理解力」「ワークライフバランス」など12講座開かれた



「江戸東京再発見 + 発信プロジェクト」

28年度後期の学際演習「江戸東京再発見 + 発信プロジェクト」は、経済学、法律学、政治学、会計学を専門とする教員のもと行われました。

今回は全15回の講義を前後半に分け、それぞれに事前学習とフィールドワーク

等を行いました。そして「三鷹の文豪と新撰組ゆかりの地を訪ねて」と「都内の神社・教会めぐり」の2冊の報告書を作成しました。このうち「都内の神社・教会めぐり」の授業と12月18日のフィールドワークを紹介します。

事前学習

今回は、生活と信仰を大きなテーマに、都内の神社・教会を巡ることになりました。具体的に訪問地が決まると、学生は分担してその歴史や見どころに加え、自身に関心を持ったことなど調べ、それを発表し合います。

あわせて、訪問地間の移動手段や移動時間を調べ、最終的に当日の全体スケジュールも確認しました。



フィールドワーク (2016年12月18日実施)



東京カテドラル集合

午前10時からのミサを見学。学生たちには初めての体験。神聖で厳粛な雰囲気味わう

靖国神社

事前学習で調べた「参拝方法」を実践。その後、境内を思い思いに見学
昼食は水道橋でシンガポール料理に舌鼓

三ツ堂

聖堂内では正教会の歴史、八端十字、アイコンなどの説明を受ける

神田明神・解散

初詣、仕事始め参拝に始まり1年を通して行事が多い神田明神。この日も多くの人で賑わっていた

学習のまとめ・成果報告書作成

フィールドワークで学習したことや感想をまとめ、成果報告書を作成します。

固有名詞に誤りが無いか、説明文が適切か、参考文献などが適切に引用されているかなど細部にわたり確認作業が行われました。



学際演習を終えて 「江戸東京再発見 + 発信プロジェクト」担当 准教授 岩隈 道洋

学生と話をする、意外と都内にある史跡や寺社教会について、彼らが知らないことに驚く。今回の学際演習では、「三鷹の文豪」「新撰組」「都心の聖地」に分けてフィールドワークを実施し、身近なはずの「東京」がどういう街なのかを、事前学習を踏まえた、普段と違った目を持って歩いてもらった。街を歩いて、森鷗外や太宰治と三鷹のつながりを知り、土方歳三鑑定の地で食事をし、イエスを讃える聖歌を聴き、平将門や英霊を鎮魂する社に憩う。学生たちのプランが、東京をより立体的に体感できるものだったことは、何よりの成果である。

世界を舞台に活躍する実務者の方々による講義 グローバルに働くとは?世界を舞台に働きたい杏林生へ

他学部生も履修できる杏林推奨科目「Global Career Development」



JICA 中野貴之氏 (中央) の講義。同氏は現在 JICA 横浜所属

28年度後期、総合政策学部 GCP の始動にあわせて、グローバルに働くことを視野に入れた学生たちが、実際に世界を舞台に活躍する実務者の方々のナマの声を聴き、自分たちのキャリア形成の

ヒントにするための授業、Global Career Development が開講しました。

現代社会はまさにグローバルの時代です。ヒト・モノ・カネ・情報が国境や文化を超えてダイナミックに移動しています。このような時代にあって、グローバルに働くとは、どういうことなのでしょう。

講義では、民間企業や政府関係、NGO など様々な領域で グローバルに活躍している方々13名を講師に迎え、仕事の内容ややりがい、成功・失敗も含めたご自

身のライフヒストリーなどをもとに、「グローバルに働くこと」について深く、広く、

そして時に熱く講義していただきました。(総合政策学部 講師 長谷部 弘道)

後期授業の講師	講演テーマ
楽天株式会社常務執行役員、Rakuten Asia CEO 小林正忠氏	「1.1の生き方」と「自我作古」の精神
在日オーストラリア大使館 教育・科学担当シニアマネージャー 塚本久美子氏	日本人がオーストラリア大使館で働くという選択肢
国際移住機関 (International Organization for Migration) プログラム・マネージャー 清谷典子氏	国際公務員への道のり
元 F1 ドライバー 山本左近氏	夢を叶える三原則
QQ English 創業者兼代表取締役 藤岡頼光氏	これからの時代に成功する人材の条件
長年ロジスティクス業界で活躍 小高格氏	海外駐在の醍醐味と心得
京王プラザホテル人事部スーパーバイザー 佐久間秀彰氏	「おもてなし」民間外交の最前線
元 NHK 国際報道カメラマン 澤辺寛氏	レンズの向こうに見た世界
独立行政法人国際協力機構 (JICA) 広報官 中野貴之氏	国際協力の現場
三井物産株式会社 北原隆志氏	グローバル・ビジネスの魅力

わたしの書棚から

今号から、「私の一冊」「人生を変えた本」「私の読書法」など、教職員が自由なテーマで思い出の本を紹介するコーナーを設けました。お薦めの一冊から読書の楽しさを実感してみませんか。



私の読書歴

まだ ひろはる 学園理事長 **松田 博青**

私の読書歴は目に入った本を読むという乱読の連続で、どちらかといえば洋モノ(翻訳モノ)が日本の作品に比べると多い。従ってその中から編集者が要望する「感銘をうけた本」「人生を変えた

本」「学生に読んでほしい本」等を自信をもって紹介することはとても出来ない。そこで個人として記憶に多少でも残っている本や面白かったと思った本の中から何冊かを作者の出身国別に並べてみることで御容赦頂きたい。

なお、ロシア、ドイツ等は最近の作品をあまり読んでいないので省略した。

アメリカ	いつか、どこかで /A. シュリーヴ著;高見浩訳 新潮社 (2004) 日はまた昇る /E. ヘミングウェイ著;大久保康雄訳 新潮社 (2006) オーロラの魔獣 /L. チャイルド著;貫村信二訳 武田ランダムハウスジャパン (2010) 最高機密エージェント /D.E. ホフマン著;花田知恵訳 原書房 (2016)
イギリス	情事の終り /G. グリーン著;田中西二郎訳 新潮社 (1978) 大国の興亡 /P. ケネディ著;鈴木主税訳 草思社 (1993) 自助論 /S. スマイルズ著;竹内均訳 三笠書房 (2003) 交換教授 /D. ロッジ著;高儀進訳 白水社 (2013)
フランス	クレーヴの奥方 /M. ラファイエット著;生島遼一訳 岩波書店 (1937) 英国史 /A. モーロア著;水野成夫ほか訳 白水社 (1939) 掌の中の無限 /M. リカール他著;菊地昌実訳 新評論 (2003) レベッカ /D.D. モーリア著;茅野美ど里訳 新潮社 (2007)
スウェーデン	窓から逃げた100歳老人 /J. ヨナソン著;柳瀬尚紀訳 西村書店 (2013) 国を救った数学少女 /J. ヨナソン著;中村久里子訳 西村書店 (2015)
日本	世界の葬式 /松濤弘道著 新潮社 (1991) 地球システムの崩壊 /松井孝典著 新潮社 (2007) 楽園のカンヴァス /原田マハ著 新潮社 (2012)

時代小説に魅せられて

またた こうへい 学園事務局長 **蒔田 耕平**

私はいろいろな本を読むが中でも時代小説が好きだ。山本周五郎や藤澤周平、ジャンルは変わるが司馬遼太郎等、いわゆる痛快もの・人情ものを好んで読んでいる。

50歳代の後半になってからは、現在人気を博している佐伯泰英の『密命』、『御鏡拝借』、『夏目影二郎始末旅』、『居眠り聲音江戸双紙』、『吉原裏同心』や上田秀人『奥右筆秘帳』等のシリーズを読破したが、新刊も欠かさず読んでいる。

時代小説の良さは、その時代の(多くは江戸時代であるが)武士や町民の生活実態を知ることができ、その言動に触れ200年もの昔に思いを馳せるところにある。

諸田玲子『奸婦にあらず』を読み、何年かして彦根城の脇にある「理木舎」を訪れたが、井伊直弼とたかの当時が想い

起こされ、感慨も一入だった。

昨年読んだ中に、和田竜の『村上海賊の娘』がある。これは村上水軍最大の勢力だった能島村上家の景姫の物語だ。時代は織田信長が天下統一に向かって直走する頃で、信長と大坂本願寺との戦において、本願寺を支援する毛利派の村上軍が、孤立した砦へ兵糧を運び込むため、信長派の真鍋軍と死闘を繰り広げ、ついにそれを成し遂げるといふ話である。敵の安宅船という当時最大級の戦艦に対し、一回り小さい関船や更に小振りの小早で挑み、空前絶後の船戦をこの景姫が繰り広げる。何度も死にかけられるが、その度に蘇り遂に戦に勝利する。村上一門には、姫が軍船に乗り兵を指揮することが「鬼手」と言われる必勝の秘策であることが最後になってわかる。

瀬戸内の暮らしに憧れる自分の想念もあり、壮大な瀬戸内海で群雄割拠する英雄たちの戦いぶりに否が応にも引き摺り込まれてしまう、そんな思いのした1冊であった。

外国語学部

多様な価値観・異文化への理解を深める 「グローバルコミュニケーション論」がスタート

外国語学部では、実践的な語学力の習得と多様な価値観・異文化への理解力を学生が身につけることにより、国際社会で活かせるコミュニケーション能力の涵養をめざしています。



授業はすべて英語で行われる。このあと、学生はグループに分かれて英語で意見交換を行った

外国語学部では、2年次の海外留学を奨励していますが、海外に出ると、文化の違いを感じる機会が増え、それまでの自分の価値観が揺さぶられたり、新たな気づきを得たりすることがあります。

そうした時に、相手の意見を客観的に捉え、多様な価値観を受け入れ、話し合いながら自分の意見を述べる力が大切になります。

1年次で学ぶ「グローバルコミュニケーション論」は、多様性を受入れ、異文化への理解を深めるための授業で、学生達は事前に日本に関するドキュメンタリー映画を視聴し、各自でその事象の背景や見解を調べて講義に臨みます。そして数回の講義で理解を深め、グループディスカッションを通して意見交換し、議論を掘り下げます。

全て英語で行われる講義

また、講義は全てネイティブ教員による英語だけで行われ、始めは授業についていくことがやっとの学生も、回を重ねるごとに聞き取りや理解力、文章力が向上していきます。

前期に英語学科の学生が、後期に中国語学科・観光交流文化学科の学生が合同で授業を受けます。

自国を知り、異なる価値観を知る

国際社会で通用するコミュニケーション力を養うためには、まず自国を理解することが大切です。

講義では、海外の視点や日本と他国の比較などで描かれた日本に関するトピックスを4つ取り上げ、自国についての理解を深めます。

取り上げるドキュメンタリー映画の中には、日本の慣習について異議を唱える外国人の視点で制作された作品もあります。

例えば、日本のある地域で400年以

その一環として1年生を対象に今年度開講した「グローバルコミュニケーション論」について、講座を担当する坂本ロビン教授に伺いました。

上也継続しているイルカの追い込み漁が残酷であると反対するアメリカのドキュメンタリー映画を取り上げ、正反対の考え方をする人がなぜいるのか、互いの主張や背景を考察します。

意見の対立する作品をあえて取り上げ、文化や価値観の差異を認識します。

正解のない問いに挑む力を養う

映画を視聴した後、学生達は各自でその事象の背景やさらに異なる見解などを調べ、自国の文化や社会が海外の文化の異なる人々からどの様に理解されているのかを把握します。

その後、講義で理解を深め、2名～6名程のグループでディスカッションをし、意見交換を行うことで考える力やコミュニケーション力を磨きます。

後期のクラスは、中国語学科と観光交流文化学科が合同で学びますが、2学科の垣根を越えたグループワークでさらに多様な考えを共有できる機会となります。

また、物事が複雑に絡み合った現代社会では、正解は1つではありません。

様々な主義・主張があることを知り、自分なりの考えを持つことの大切さに気づくこともこの講義の目的です。

(外国語学部教授 坂本ロビン)

【講義で扱ったドキュメンタリー映画作品】

1. 日本で自らの人権のために戦う外国人労働者たちの姿を描いた日独合作映画
2. 外国人と日本人の間に生まれ日本で暮らす「ハーフ」の人々を通して、多文化、多様性、アイデンティティを問う作品
3. 脱原発・自然エネルギーへのシフトを実現するスウェーデンと日本のエネルギー問題を考える作品
4. 日本で行われているイルカの追い込み漁へ異議を唱えるアメリカの作品

「グローバルコミュニケーション論」で学んだこと

考え方は一つでない 中国語学科 大原 健楽

全て英語で行われる講義に初めは苦労しました。聞き取りに慣れ、返却されるレポートの訂正箇所が減ってくる、英語が楽しくなってきました。

自分の考えや主張を持つためには、一つの情報に捉われず、色々な角度から調べたり、人と意見を交わしたりすることが大切だと再認識できました。

3月から1年間、北京第二外国語学院に留学します。授業で学んだことは留学中も心がけていきたいです。

他者の価値観を受け止める

観光交流文化学科 小川 涼夏

英語で行われる講義を理解するために、集中力をフル稼働して楽しみながら受講しています。

ドキュメンタリー映画を通して、日本で暮らす「ハーフ」の人達の葛藤や悩みに初めて気づきました。4本の映画やディスカッション等を通して、人々の考え方には、国や文化が大きく影響していることが理解できました。

4月からカナダのヴィクトリア大学に4カ月間留学します。移民の多いカナダで、様々な人の考え方や価値観を受け止められるようになりたいです。



国際社会で通用するコミュニケーション力を身につけるには、多彩な価値観理解、自国の理解、異文化理解が必要。グローバルコミュニケーション論ではこうした力を養う

私の薦める一冊

やんくにまさ
医学部教授 楊 國昌

それは、エリザベス・キューブラー＝ロス (1926～2004) の『人生は廻る輪のように』上野圭一訳、角川書店 (文庫)、2003年です。

「The Wheel of Life: A Memoir of Living and Dying」の全訳ですが、上野氏の絶妙なタイトルの訳に目を奪われて手に取ったロス先生の自伝です。原本は1997年に発刊されました。

彼女は、1969年に刊行した『死の瞬間』(邦訳1971年)で世界的に著名になった「臨死医療」の先駆者で、「死の受容のプロセス」(否認・怒り・取引・抑鬱・受容)を提唱したことで有名です。

彼女は、当時のいわゆる近代医療体制の維持と進歩の目標が「生の存続」のみであり、「死」とそれに至る過程が全く無視されていることに疑義を抱きました。そこで、新たに精神医学博士を取得

後、臨死患者の「精神的ケア」活動に進出したわけです。

しかし、私がこの本で感銘を受けたことは、彼女が最終的に残した医学への貢献よりも、むしろそこに至るまでの彼女の人生の移ろいについてでした。まさに、それは波瀾万丈といえます。900gの三つ子として生まれ(当時の環境下での生存は奇跡)、親の反対にも関わらず独力で収入を得ながら医学の門をたたき、第二次世界大戦後の混沌とした欧州で、自身に迫る生命の危険をもとせずに国境を越えた医療ボランティアを行い、その後米国に渡って精神科医になり……。続きはぜひお読みください。

一人の人間が、多くの困難の中で、時間的かつ空間的にかくもダイナミックに人生を全うできるのかということ、読みやすい文章で読み取ることができます。ぜひ皆さんに読んで頂きたいと思います。



読書と私

くろだ ゆうこ
外国語学部教授 黒田有子

私は19世紀アメリカの作家ハーマン・メルヴィルを研究していますが、『白鯨』(1851)を読んだという学生さんに会うことはありません。米国の学生も敬遠する傾向があるくらいで、長い、暗い、難しいは歓迎されません。

メルヴィルは若い頃一介の水夫として捕鯨船、商船、軍艦に乗り組んだ経験を出発点としているので、私は吉村昭『アメリカ彦蔵』(1999)、『大黒屋光太夫』(2003)などの漂流ものやサンテグジュペリ『星の王子さま』(1943)、『夜間飛行』(1931)などの不時着ものも気になります。視点というか立ち位置を考えるからでしょうか。

カトリック系の学校で学んでいたので、遠藤周作は必読でした。『沈黙』や『深い河』よりもモーパッサンではない『女の一生』(1982)がズシンと来ました。「第

1部 キクの場合」と「第2部 サチ子の場合」があります。どうにも跳ね除けられない力は確かにあるのですが、それに対応できるのは人間の心かもしれませ

ん。家族が居住区とその隣接区の図書館に常時40冊を予約しているので、新刊書は遅れて読むことが多いです。この間読んだのは宮下奈都『羊と鋼の森』(2015)です。数値で表せないものは確かに存在するということを表現する醍醐味を感じました。

グローバル化が進展する中で刺激を受けた本の1冊は水村美苗『日本語が亡びるとき 英語の世紀の中で』(2008)です。物議を醸すようなタイトルは漱石の作品からとられているようですが、英訳の出版を経て加筆された「増補版」(2015)もあります。情報化社会を生きる私たち1人ひとりにとって言語とは何かを考えさせられます。



金田一 教授の研究室から ⑰

金田一 秀穂 (きんだいち ひでほ) : 1953年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外語学院、米イェール大学、ロシア語大学などで日本語講師。1988年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる。

国語のリスニング

久しぶりにセンター試験の主任監督役を仰せつかり、朝から夜まで、緊張の時間を過ごした。もしここで下手なことをすると、その影響は日本全国に及びかねない。厳しいのである。しかも、わたしに割り当てられたのは、土曜日、英語のリスニングテストのある日なのだ。

英語のリスニングは、特別な機械が各人に配られて行われる。不具合が生じる可能性が極めて大きい。それでもなおかつリスニングをするには、理由があって、日本の英語教育では、読み書きに重点が置かれて、聞いたり話したりする音声言語の側面がほとんど無視されてきた。そのせいで、日本人の英語会話能力は低いのだ、という考えに基づいて、リスニングが受験勉強の一つに加えられるようになった。そうすれば、英会話能力も上がるに違いない、と信じられている。それが果たして妥当かどうか、よくわからないのだけれど、いずれにせよ、やって悪いことではないので、しっかりやってほしいとは思っている。もし英語のリスニングテストをするのであれば、国語だって聴解試験を実施したらどうだろうかと思いついた。

大学受験の国語は今のところ、完全に、文字言語に偏っている。しかし、

日本語を聞いてわかっているのかどうか、怪しい者が多い。言語能力を測定するためには、聴解は必須である。

たとえば、おばさんの話を聞く。そうしておいて、この人はどんな返事をしてほしいのか、次の4つのうちから一つ選べ。①なぐさめてほしい、②励ましてほしい、③感心してほしい、④聞いているだけでよい。街頭インタビューの若者の話を聞いて、①真剣に社会のことを考えている、②テレビに聞かれて舞い上がっている、③テレビ局に言われている、④こうすればテレビに流されるだろうと思って、受ける答えを作っている。わけのわからないオジサンの会話を聞いて、この人は、①心から悔やんでいる、②形だけ反省している、③またやってやろうと思っている、④何も考えていない。このうち、もっとも適切なもの一つを選びなさい。

こういうことが的確に分かる能力は、今の日本で、とても大事だと思うのだ。



健康ひとくちメモ ⑰

検脈のすすめ

皆さんは、ご自身の脈を数えることができますか？

検脈(脈拍触診)とは、皮下に触れる動脈の拍動を感じ、観察することです。額、首、手首、足の付け根、足背部などは血管が皮膚表面に近いところを走っているため、こういった場所に指をあてると「トン、トン、トン」と拍動を感じることができます。

もう少し具体的にお話ししましょう。検脈には普通、左手首の動脈を使います。まず、左手首を外側に回して手のひらを返して上向きにします。そして、手首を少し曲げて、手首のシワを確認しましょう。右手を左手首のシワの位置に薬指がくるように、人差し指、中指、薬指の3本を当てます。左親指の付け根の骨の内側で、脈がよく触れるところを見つけてください。この時、指先を少し立てると脈がわかりやすいでしょう。

15秒くらい脈拍を触れて、間隔が規則的かどうか、確かめてください。不規則かなと思ったら、さらに1分から2分程度続けてください。

「トン、トン、トン」と規則正しく脈が触れれば、まず心配はありません。しかし、「トン、…、トトツ、…、トトン、トツ、トン」という具合に乱れていたら要注意です。「心房細動」という不



整脈が隠れているかもしれません。一度、心電図検査を受けてください。

なぜ「心房細動」を見つけることが大事なのでしょう？それは、心房細動があると脳梗塞になりやすいからです。心臓と脳には密接な関係があり、心臓内に生じた血栓(血の塊)が脳の血管に流れ込み、心原性脳塞栓症という重症の脳梗塞の原因となります。

心房細動を持つ人が必ず、脳梗塞を起こすわけではありませんが、心臓の働きが衰えるにつれ、高血圧や糖尿病を合併している場合、さらに年齢を重ねるにつれ脳梗塞は起こりやすくなります。心房細動だとわかれば、今は良い薬(抗凝固薬)が沢山あり脳梗塞を予防することができます。

脳梗塞にならないために、定期的にご自身の脈をチェックしてみることをお勧めします。

(平野 照之 : 杏林大学医学部脳卒中医学・教授)

ひらの てるゆき

熊本大学医学部卒業。同第一内科/神経内科入局。国立循環器病センター、豪州メルボルン大学、熊本大学講師、大分大学准教授を経て、2014年に脳卒中医学教室の教授に就任。



クラブ・サークル紹介

井の頭・三鷹両キャンパスで活動するクラブ、サークルは66団体。今回は、アメリカンフットボール部と柔道部を紹介します。

● アメリカンフットボール部

選手・スタッフ全員で戦う「杏林 CAVALIERS」



CAVALIERSには、総合政策学部、外国語学部、保健学部の学生29名が所属しています。

アメリカンフットボールは、1チーム11人でボールを相手のエンドゾーンに向けて前進させ、得点を競います。攻守が明確に切り替わる、細かいプレーの積み重ねで進行する、激しいぶつかり合いがあることなどが特徴であり、アメリカ



ヘルメット、ショルダーなど計5キロの防具を着けると、体格はひと回り大きくなる

では人気No.1のスポーツです。

練習日は週5日。八王子キャンパスのグラウンドで実戦練習、三鷹市周辺施設でダッシュやパス練習、井の頭キャンパスのトレーニング

ルームでウェイトトレーニングなどを行っています。また、社会人チームや他大学と行う合同練習や練習試合は実践感覚を磨くとてもよい機会です。夏休みなどには、1週間程の合宿を行っています。社会人チームでも活躍する卒業生などがコーチとして細かく指導してくれます。また専属のトレーナーからは、怪我の防止やケア、効果的な筋トレ方法、食事のバランスなどもアドバイスしてもらっています。こうした多くのスタッフのサポートがあり、私たちは日々活動しています。

CAVALIERSの目標は、関東学生アメリカンフットボール連盟のエリアリーグで優勝し、3部リーグへ昇格することです。共に戦う仲間を一同待っています！(マネージャー/保健学部2年 小川 梨香子)

● 柔道部 敬意や思いやりの精神を養い、成長を実感できる競技



医学部、保健学部、看護専門学校の学生14名(うちマネージャー2名)が在籍し、水・金曜日に三鷹キャンパス松田記念館の道場で練習しています。

手技や足技、腰技など立位で掛ける技や、相手の動きを封じる寝技を中心にした練習を2時間集中的に行っています。

初心者には、有段者の部員が丁寧かつ安全に指導しているので、皆上達がとても速いです。部の雰囲気は和気あいあいとしています。練習は常に真剣に取り組んでいます。

1972年度に設立した歴史のある柔道部ですが、部員がいない時期もありました。昨年度、私を含めた3名で部を再興させ、部の規律や雰囲気作りを一から行ってきました。その甲斐があり、今年度の新人戦は男女ともに個人戦優勝、12

月の多摩地区大会は団体戦準優勝という成績を収めました。

他の医科大学との交流も盛んです。中でも慈恵医科大学、日本大学、順天堂大学とよく合同練習などを行っています。

柔道は講道館柔道の創始者で教育家でもある嘉納治五郎先生の、修行を重ね自分を磨きその力を世のために使う「精力善用」と、他者を信頼し助け合うことで共に栄える「自他共栄」を理念としています。そのため、柔道は医療人として必要な相手に対する敬意や思いやりの精神を養い、自分たちの成長を実感できる、素晴らしい競技だと思います。相手に投げられる悔しさと投げられる快感は柔道ならではのものです。ぜひ皆さんも一度道場へ足を運んでみてください。

(主将/医学部3年 中村 圭孝)

編集を終えて

- 第8号(2012)では「よい就職とは」と題して、多摩地域に本拠をおく小泉機器工業株式会社の皆様に取材をさせていただきました。早や5年を経て、今号は増ページの特集でトップに就職支援を取り上げました。杏林大学における就職支援の現状、就職活動を通して見える学生の成長、その一層の充実のために必要なことは何かを考えました。(有)
- キャンパスでリクルートスーツ姿の学生を見かけると、思わず「がんばれ！」と声をかけたくなります。採用試験の面接役を何度も経験しましたが、みんな真摯でいい学生ばかりです。でも、充実した学生生活を送ってきた人は何かキラリと光るものを持っています。そこが採否の分かれ目です。今号の特集が「やりがいのある未来」へのスタートになれば幸いです。(鳥)
- 全国大学生協連の調査で「大学生の一日の読書時間『0分』が5割、平均24.4分。スマホの平均利用時間は161.5分」という報道がありました。スマホの有用性も良くわかりますが、書物を読み通した後に「読後の余韻に浸る」ひと時も味わってほしいなと思います。(ふ)
- 新川一連筆。2つの杏林キャンパスを1日何回も往復することがあります。午前中、かわいい園児たちの一行に出会ったり、黄昏時、新川交差点でタヌキに遭遇。もうすぐ長久保三之橋から満開の桜と菜の花を眺めることができ、これも楽しみです。(酒)

2017年度 大学行事・イベント

(2017年3月~2017年11月) ※予定

3月12日(日) 卒業式・学位記授与式 (三鷹キャンパス)	8月上旬~9月14日(木) 夏季休暇
4月6日(木) 授業開始	9月13日(水) 卒業式(秋) (三鷹キャンパス)
4月9日(日) 入学式 (三鷹キャンパス)	9月15日(金) 入学式(秋) (井の頭キャンパス)
6月上旬 杏会総会 (保健、総合政策、外国語学部)	9月20日(水) 授業開始
6月24日(土) 学園創立50周年記念式典	11月11日(土) 創立記念日
7月27日(木)~ 定期試験	*医学部の授業開始・終了、夏季休暇はこれとは異なります